

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成29年9月25日

計画の名称	竹原町歴史的風致維持向上地区街なみ環境整備計画															
計画の期間	平成25年度～平成29年度(5年間)			交付対象	広島県竹原市											
計画の目標	歴史的風致形成建造物の保存修理や小公園整備等の住環境・公共空間の整備により、今日まで受け継がれてきた文化の継承と歴史的な町並みの保全を図りつつ、魅力あふれる町並みを再生する。															
計画の成果目標(定量的指標)	町並み保存地区の入込観光客数と観光消費額を維持する。(入込観光客数=189,110人)(観光消費額=86,787千円)															
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値					備考					
						当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H29末)								
① 町並みの入込観光客数調査 入込観光客数の増加率=(評価時点から過去3年の入込客数平均値)÷(H21からH23の入込客数平均値)(%)						100.0%		103.0%								
② 町並みの観光消費額調査 観光消費額の増加率=(評価時点から過去3年の観光消費額平均値)÷(H21からH23の観光消費額平均額)(%)						100.0%		103.0%								
全体事業費	合計 (A+B+C)	87百万円	A	85百万円	B	C	2百万円	効果促進事業費の割合 C÷(A+B+C)			3.5%					
事後評価(中間評価)																
○事後評価(中間評価)の実施体制、実施時期																
事後評価(中間評価)の実施体制						事後評価(中間評価)の実施時期										
庁内関係課の調整会議により評価						平成29年10月										
						公表の方法										
						竹原市ホームページへの掲載										
1. 交付対象事業の進捗状況																
交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
								H25	H26	H27	H28	H29				
1-A1-1	住宅	一般	竹原市	直/間	市/個人	竹原町歴史的風致維持向上地区街なみ環境整備事業	小公園の整備、歴史的風致形成建造物の保存修理等						85			
小計												85				
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
合計																
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H25	H26	H27	H28	H29			
1-C1-1	住宅	一般	竹原市	直接	竹原市	歴史・文化交流施設の整備に伴う検討事業	ワークショップ・意見交換等	竹原市						2		
合計												2				
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					
1-C1-1	町並み保存地区の価値と魅力を最大限に活用するために、住民等の文化財保存・活用ニーズに基づいた施設を整備し、歴史文化の情報発信を行い、文化交流を促進するとともに歴史的風致の維持及び向上に寄与する。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 森川邸前小公園整備により、観光客の休憩場所、町並みの風情を感じる滞留場所が確保され、おもてなし機能の向上により観光客数及び観光消費額が増加した。 藤井酒造リニューアルにより、伝建地区全体と歴史的建造物との統一的な景観の調和が保たれ、観光客数及び観光消費額が増加した。 歴史、文化施設について地域住民、観光客等に対してアンケート調査を実施し、伝建地区全体の観光資源としての重要性を再認識し、日常的なおもてなし機能の向上により観光客数及び観光消費額が増加した。 				
II 定量的指標の達成状況	指標① 町並みの入込観光客数調査	最終目標値	103%	目標値と実績値に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> NHK朝の連続ドラマ『マッサン』が平成26年に放映されたことにより、観光地としての知名度が向上し多くの観光客が訪れる契機となった。 歴史的な町並みを保全する取組が評価され、多くのマスメディアで取り上げられた。 	
		最終実績値	210%			
	指標② 町並みの観光消費額調査	最終目標値	103%	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	222%			
				目標値と実績値に差が出た要因		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> 関連施設整備や意見交換を通じて、地域住民の歴史的価値の再認識や日常的なおもてなし意識の重要性について、住民理解が浸透した。 				
3. 特記事項（今後の方針等）						
<p>竹原町歴史的風致維持向上計画は全体11年計画の前期の6年が終了した段階であり、引き続き後期計画により歴史的な町並みや建造物の保存を行い、文化財の継承や観光資源として活用を図り、地区全体としての魅力向上を図る。</p> <p>今後は、竹原町歴史的風致維持向上地域全体を鳥かんする中で各施設の整備を進めるとともに、歴史的な町並みや建造物の保存・活用を行い、前期計画の取組を発展・強化させていきたい。</p>						